



## 2022年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月14日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越  
コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂本 淳  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 古澤 哲 (TEL) 03-5568-5210  
四半期報告書提出予定日 2022年7月14日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年11月期第2四半期の連結業績（2021年12月1日～2022年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第2四半期	122,092	9.0	8,100	25.9	8,769	34.8	5,830	30.3
2021年11月期第2四半期	112,047	8.0	6,435	144.1	6,505	304.9	4,474	903.4

(注) 包括利益 2022年11月期第2四半期 13,428百万円 (24.7%) 2021年11月期第2四半期 10,770百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第2四半期	244.76	ー
2021年11月期第2四半期	186.10	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年11月期第2四半期	332,345	148,514	42.5
2021年11月期	319,312	138,211	40.7

(参考) 自己資本 2022年11月期第2四半期 141,165百万円 2021年11月期 130,104百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	ー	0.00	ー	100.00	100.00
2022年11月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2022年11月期（予想）	ー	ー	ー	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	9.1	17,000	15.5	16,000	10.7	11,000	10.1	461.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年11月期2Q	24,919,343株	2021年11月期	24,919,343株
② 期末自己株式数	2022年11月期2Q	1,070,991株	2021年11月期	1,135,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年11月期2Q	23,822,563株	2021年11月期2Q	24,045,077株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、（添付資料）3ページ「（3）今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	11
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループをとり巻く環境は、経済活動の正常化が進み、日本・欧米などの先進国経済の持ち直しが続くなか、総じて緩やかな回復が継続しました。一方で、半導体不足による自動車の減産影響や中国での新型コロナウイルス対策による都市封鎖に加え、ウクライナ情勢の長期化や急激な為替円安に伴う原材料・エネルギー価格の高騰など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期的な脱炭素・EV化をはじめとする産業構造の大変革を見据え、ロボット事業をはじめ、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての長をを活かし、ユーザーのものづくりに寄与する新商品の開発や技術提案などにより、受注・売上の拡大にとり組んでおります。また、収益の改善に向けて、需要の変化に対応する世界の工場再編、合理化、内製拡大など、事業全般の構造改革を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、自動車分野で生産調整などがありましたが、建設機械・産業機械・市販分野の需要が回復・拡大したことにより、連結売上高は、1,220億92百万円(前年同期比9.0%増)、このうち、国内売上高は605億85百万円(同5.6%増)、海外売上高は615億7百万円(同12.5%増)となりました。利益面につきましては、売上・生産の増加による操業度の改善に加え、原材料価格上昇分の販売価格への環流や、生産ラインの自動化・合理化による生産性の向上、調達コストダウンにとり組み、また、為替が円安で推移した結果、営業利益は81億円(同25.9%増)、経常利益は87億69百万円(同34.8%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億30百万円(同30.3%増)となりました。

セグメントの経営成績につきましては、次のとおりであります。

機械工具事業では、産業機械・市販分野で需要回復が進む工具と、電機・電子分野を中心としたロボット需要の拡大により、売上高は372億97百万円(前年同期比4.9%増)となり、営業利益は31億8百万円(同73.7%増)となりました。

部品事業では、自動車分野において生産調整の影響がありましたが、建設機械・産業機械・市販分野で需要が回復・拡大し、売上高は768億44百万円(前年同期比9.0%増)となりました。一方、営業利益は、操業度の改善に対して原材料価格の高騰などの影響を大きく受け、43億48百万円(同6.5%減)となりました。

その他の事業では、特殊鋼需要の回復と販売価格の引き上げなどにより、売上高は79億51百万円(前年同期比32.4%増)、営業利益は6億41百万円(前年同期は45百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、3,323億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ130億33百万円増加しました。主として、受取手形、売掛金及び契約資産が46億3百万円、棚卸資産が95億11百万円、有形固定資産が64億72百万円増加し、現金及び預金が83億69百万円減少しております。

負債合計は、1,838億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億30百万円増加しました。主として、支払手形及び買掛金が15億32百万円、借入金が15億5百万円、リース債務が11億58百万円増加しております。

純資産合計は、1,485億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ103億3百万円増加しました。主として、利益剰余金が34億75百万円、為替換算調整勘定が73億43百万円増加しております。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は39億80百万円(前年同期比167億18百万円減)となりました。これは、主として、税金等調整前四半期純利益88億97百万円、減価償却費87億91百万円などにより資金が増加し、売上債権の増加10億46百万円、棚卸資産の増加63億17百万円、仕入債務の減少12億9百万円、法人税等の支払額36億70百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は107億75百万円(前年同期比52億10百万円増)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動により使用した資金は34億21百万円(前年同期比130億79百万円減)となりました。これは、主として配当金の支払額36億56百万円により資金が減少し、借入金の純増額5億29百万円により資金が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は316億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億82百万円の減少となりました。

(3) 今後の見通し

2022年11月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年1月13日発表の予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,771	33,401
受取手形及び売掛金	55,100	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	59,703
商品及び製品	26,743	31,977
仕掛品	13,246	13,342
原材料及び貯蔵品	17,391	21,572
未収還付法人税等	60	261
その他	5,064	5,031
貸倒引当金	△119	△140
流動資産合計	159,258	165,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,254	31,492
機械装置及び運搬具(純額)	63,811	69,093
その他(純額)	21,194	20,146
有形固定資産合計	114,260	120,733
無形固定資産	2,861	3,154
投資その他の資産		
投資有価証券	27,777	28,128
退職給付に係る資産	9,613	9,526
その他	5,548	5,659
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	42,931	43,305
固定資産合計	160,053	167,193
資産合計	319,312	332,345
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,826	49,359
短期借入金	7,347	10,855
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	21,861	21,547
未払法人税等	3,010	2,501
その他	18,299	17,175
流動負債合計	103,344	106,439
固定負債		
長期借入金	56,266	54,577
役員退職慰労引当金	28	23
株式給付引当金	332	389
退職給付に係る負債	9,754	9,702
その他	11,373	12,698
固定負債合計	77,755	77,391
負債合計	181,100	183,830

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,401	11,401
利益剰余金	96,875	100,351
自己株式	△4,924	△4,604
株主資本合計	119,427	123,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,079	13,452
為替換算調整勘定	△2,737	4,605
退職給付に係る調整累計額	334	△116
その他の包括利益累計額合計	10,676	17,942
非支配株主持分	8,107	7,349
純資産合計	138,211	148,514
負債純資産合計	319,312	332,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
売上高	112,047	122,092
売上原価	87,473	93,428
売上総利益	24,574	28,663
販売費及び一般管理費	18,138	20,563
営業利益	6,435	8,100
営業外収益		
受取利息	58	62
受取配当金	185	289
持分法による投資利益	—	9
為替差益	338	1,009
その他	449	400
営業外収益合計	1,032	1,771
営業外費用		
支払利息	397	451
売上割引	245	263
持分法による投資損失	16	—
その他	302	387
営業外費用合計	962	1,102
経常利益	6,505	8,769
特別利益		
固定資産売却益	347	7
子会社清算益	—	275
特別利益合計	347	282
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	95	29
投資有価証券評価損	8	122
独占禁止法等関連損失	5	—
特別損失合計	111	153
税金等調整前四半期純利益	6,741	8,897
法人税、住民税及び事業税	2,118	2,932
法人税等調整額	△47	101
法人税等合計	2,070	3,033
四半期純利益	4,670	5,864
非支配株主に帰属する四半期純利益	196	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,474	5,830

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	4,670	5,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,692	383
為替換算調整勘定	4,637	7,616
退職給付に係る調整額	△212	△450
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	14
その他の包括利益合計	6,100	7,564
四半期包括利益	10,770	13,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,126	13,096
非支配株主に係る四半期包括利益	644	332

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,741	8,897
減価償却費	8,316	8,791
のれん償却額	51	57
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	66	△41
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	15	103
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△5
受取利息及び受取配当金	△244	△351
支払利息	397	451
持分法による投資損益(△は益)	16	△9
有形固定資産売却損益(△は益)	△346	△5
有形固定資産除却損	95	29
投資有価証券評価損益(△は益)	8	122
売上債権の増減額(△は増加)	△5,926	△1,046
棚卸資産の増減額(△は増加)	△200	△6,317
仕入債務の増減額(△は減少)	8,123	△1,209
その他	4,263	△1,825
小計	21,407	7,651
利息及び配当金の受取額	318	348
利息の支払額	△375	△439
法人税等の支払額	△1,173	△3,670
法人税等の還付額	521	89
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,698	3,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,417	△10,047
有形固定資産の売却による収入	422	57
無形固定資産の取得による支出	△204	△591
投資有価証券の取得による支出	△18	△19
貸付けによる支出	△98	△3
貸付金の回収による収入	17	29
その他	△265	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,564	△10,775

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,565	3,223
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	5,000	—
長期借入れによる収入	11,838	9,040
長期借入金の返済による支出	△12,982	△11,734
リース債務の返済による支出	△478	△509
配当金の支払額	△1,241	△2,410
非支配株主への配当金の支払額	△7	△1,245
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1	—
自己株式の売却による収入	231	324
自己株式の取得による支出	△3,293	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,500	△3,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	998	1,527
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△368	△8,688
現金及び現金同等物の期首残高	38,936	40,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,568	31,685

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来、顧客仕様に基づく機械装置等の製造の請負契約等に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる請負契約等については工事進行基準を、その他の請負契約等については工事完成基準を適用しておりましたが、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。また、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として有償支給先に残存する支給品について棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給取引に係る負債」を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が1億15百万円、売上原価が2億3百万円それぞれ増加し、販売費及び一般管理費が1億42百万円減少し、営業利益が54百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が53百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は56百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準等第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

## (追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,544	70,496	6,006	112,047	—	112,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	577	53	1,492	2,123	(2,123)	—
計	36,122	70,549	7,498	114,170	(2,123)	112,047
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,789	4,651	△45	6,395	40	6,435

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年12月1日至2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,297	76,844	7,951	122,092	—	122,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,010	123	2,007	3,141	(3,141)	—
計	38,307	76,967	9,958	125,233	(3,141)	122,092
セグメント利益	3,108	4,348	641	8,099	0	8,100

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. (会計方針の変更)(収益認識に関する会計基準等の適用)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。